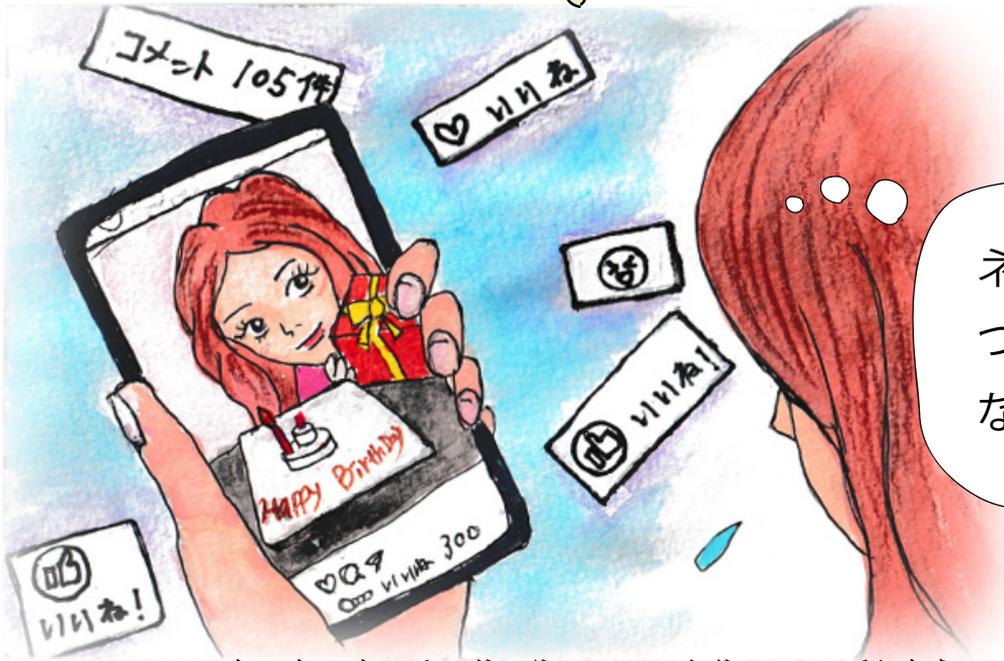


南無阿弥陀仏って
なに？

心を通い合わせるってどういうこと？



ネットで誰かと
つながっているけど、
なんか満たされないな…

なむあみだぶつ たが そんちよう
南無阿弥陀仏は、互いに尊重し合うってこと

フォローやコメントをしてくれたら、うれしいし、
「いいね」の数も多くなれば、もっと頑張りたい。

逆に、反応がなかったり、ガッカリする意見があったりすると
焦ったり、苛立ったり、傷ついたりする。

現在は、実際(リアル)に会わなくても、スマホで簡単に連絡を
とったり、検索したり、自分の思いを発信できる時代ですが、
同時に、人の存在が見えづらくなって、簡単に人を傷つけてし
まう時代といえるのかもしれない。

南無阿弥陀仏は「顔が見えても、見えなくても、尊重し合う」世界を教えてくれる。
画面の向こうで、喜んだり、悲しんだりしている顔の見えない誰かも、私と同じように
実際に苦しんだり、悩んだりしている一人だと気づかされる。



あかほんくん
(本山公式キャラクター)



ほうしゃえいてつ むじんふしゅう ぶっせつむりょうじゅきょう
「寶沙映徹 無深不照」（『仏説無量壽經』）

宝沙映徹して、深きをも照らさざることなげん。

あなたは、「映え」る写真を撮るのに苦労したことはないですか？大勢の人に見てもらうものは、やはり綺麗に美しく撮れているのを選びたいですよ。

もともと「映」という字は、「照らされ輝く」という意味があります。お経の中では、「浄土にある宝の池は清く澄んだ水で満たされている。池の底には宝の砂があり、光によって宝の砂が照らされ輝き、どんなに底が深くても照らされないところはない（寶沙映徹 無深不照）」と言われております。

私たちは物事を濁った眼で、これは好きとか、これは嫌いとか分別をします。だから、「映」というよりは、「名声を得る」という意味をもつ「栄」の「見栄え」を気にして、上手く撮れたら「栄え」た写真、上手く撮れなかったら「栄え」ない写真といったように比べて評価してしまうのです。

他のものと比較して生きる世界ではなく、私が出会ってきた人たち、出来事、すべてが光り輝く尊い「映え」る存在として尊重し合う世界が、仏様の願われている「いいね！」の関係ではないでしょうか。

スマホ を見ているその 5分

ほとけさまのお話 に耳を傾けてみませんか

東京教区慶讃事業
定例法話配信

 YouTube



毎週水曜18:00 法話動画更新

「真宗大谷派東京教区 YouTube」で検索
／上記QRコードからもご覧いただけます。

主催 東京教区 慶讃事業企画運営委員会 教化推進部会